

經濟論叢

第154卷 第6号
中村哲教授記念號

献 辞	浅 沼 萬 里	
戦時期の職員層分析	長 島 修	1
植民地期京城府の都市構造	堀 和 生	24
トヨタ・システム形成過程の諸特質	塩 地 洋	49
マルクスの人間社会理論・序論	榎 本 里 司	62
日本自動車部品工業の階層化と技術革新	山 崎 修 嗣	83
日本の海運・造船業と油送船市場	麻 生 潤	109
アジアにおける在来産業の現代的展開	黄 完 晟	129

中村 哲 教授 略歴・著作目録

平成6年12月

京 都 大 学 經 濟 學 會



中村 哲教授近影

献 辞

中村哲先生は、1994年7月15日に63歳の誕生日を迎えられ、明年3月31日をもって本学を退官されることになりました。

先生は、1955年3月に京都大学文学部史学科を卒業された後、京都大学大学院文学研究科に進学、大学院での学業を終えた後、京都大学人文科学研究所助手、龍谷大学経営学部助教授の勤務を経て、1969年4月本学部助教授に迎えられ、1976年からは経済史講座担任の教授として教育・研究活動に尽力してこられました。

先生は、既存の歴史学が西洋中心主義に偏倚しており、非欧米社会を無視するか副次的な存在としてしか認めていないことを早くから批判され、東アジアをはじめとする非欧米社会を主体として組み入れた多元的な世界史を再構成する必要があると提唱してこられました。そして、この壮大な課題に取り組むべく、明治維新史、前近代社会構造論、小経営理論、近代世界構造論、東アジア資本主義論等の広範な分野にわたって開拓者的な研究を展開してこられました。先生の該博な知識と独創的な理論にもとづくそれらの成果は、韓国や中国での出版を含め、11冊の著書と12冊の編著に結実し、内外の学界に大きな影響を与えてきました。また、先生の御指導のもとから多くの優れた研究者が育ち、新しい研究潮流を形成してきております。

先生は、本学部が大学紛争期の最後の局面で大きな試練に直面していた1977年7月から京都大学評議員として、さらに1980年1月から経済学部長として重責を担われ、本学部の再生に向け多大の努力を傾注されました。

京都大学経済学会は、先生の多年にわたる御功勞に対する敬意と感謝の気持ちをこめて、「経済論叢」の月号を記念号として編集いたしました。先生の御指導を受けられた方々から寄せられた論文を編んで、月号を先生にお贈りできますことは、私どものこのうえない慶びであります。

先生が今後ともますます御健康で、学界のため、また御研究の発展のため活動なさいますことを、心からお祈りいたします。

1994年11月5日

京都大学経済学部長 浅 沼 萬 里

中村哲 教授 記念論文集